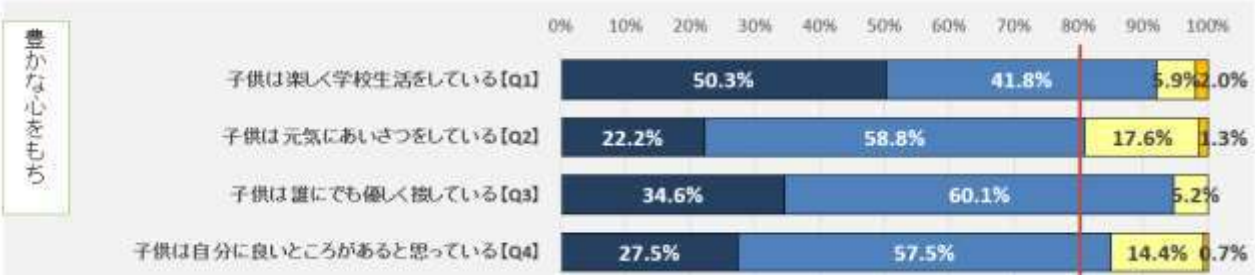
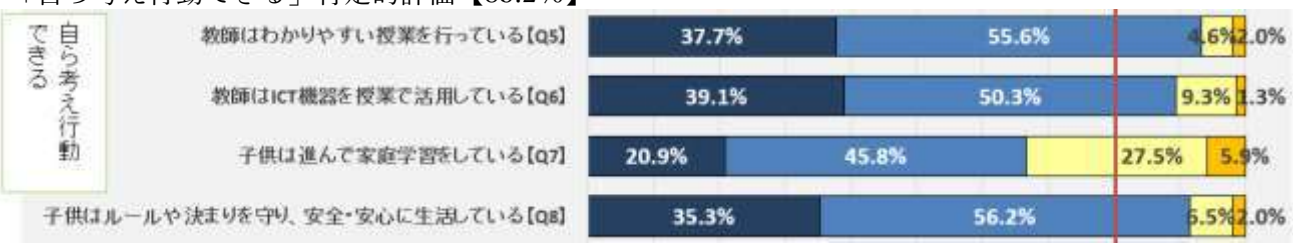
令和５年度学校評価【保護者回答】集計結果について

「豊かな心をもち」肯定的評価【88.2%】



「あいさつ」に課題があります。学校から遠くなるにつれ、あいさつができていないようです。近年は、防犯上、見ず知らずの方に自分から積極的に声をかけること避ける傾向にあります。ですが、あいさつは、お互いを認め合い、人間関係を良好にするメリットがあります。子供たちには、自分から進んであいさつすることを改めて指導し、お互いが気持ちよい１日を過ごせる学校、地域づくりを目指します。

「自ら考え行動できる」肯定的評価【85.2%】



「家庭学習」に課題があります。家庭学習については、学習時間を確保できるよう内容や量を精選して取り組ませています。学習時間は少なくとも「学年×１０分」程度としています。家庭学習は授業で学習した内容を定着させるため、また学習習慣を身に付けるために必要です。子供たちには宿題の大切さを改めて指導しますので、ご家庭でも学習に取り組む時間と環境の確保のご協力をお願いします。

「たくましい子供を育成する」肯定的評価【85.7%】

「目標を持って粘り強く取り組む」ことに課題があります。各学級では、係活動、当番活動、各種集会、学校行事、各学期の初め、学習課題などに、各自目標を掲げて取り組ませています。そして、目標を達成できた場合やその過程での取り組む姿勢に賞賛や励ましの声かけをしています。ただし、個人差もありますので、賞賛や声かけを個に応じて工夫するなどして、子供たちの自己肯定感を高めていきます。

「学校経営」肯定的評価【87.2%】

「保護者や地域と連携・協力」に課題があります。約３年半続いたコロナ禍により、学校行事、PTA 行事が中止や縮小されたことも要因としてあると考えています。今年度、５月に新型コロナウイルス感染症も５類に移行し、徐々に各種行事等もリニューアルした形で復活してきています。教職員・子供たちも各種関係団体と連携・協力を進めて子供たちの教育活動の充実及び健全育成を図ります。